

## 基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.21A 更新記録

2009/02/03

有限会社ジオ・コーチ・システムズ

<http://www.geocoach.co.jp/>

[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

### 1. 修正

- メニュー[一括処理]-[座標のずれ対応]で、点間の距離が0.000000002mと微小な場合、同一座標とみなして、点を移動していませんでした。微小なずれでも点を移動するよう修正しました。
- メニュー[基盤地図情報]-[シェープファイル検査]の「行政区画ポリゴンの外側」での判定の誤りがありました。

### 2. 座標値パネル

- 座標値パネルの座標表示を小数点以下4桁までにしていましたが、有効数字をすべて表示するようにしました。点の微小なずれを確認しやすくするためです。
- 座標値パネルのXY座標をテキスト入力することで、シェープファイルのポリゴン・ポリラインの座標が変更できるようにしました。